



校長だより

～躍動～

第11号



〈学校教育目標〉 心豊かに 自立する

呉市立両城小学校
校長 安部ほずみ

令和8年9月1日(火)

“節目”を大切にする二学期に！

9月1日、二学期スタート！！

子供たちの元気な声と笑顔が学校に戻ってきました。

始業式では、「節目」のお話をしました。



R8. 9. 1 二学期始業式

「“節目”という言葉を知っていますか？節目とは、竹の節のことです。竹は、この節があるからこそ、大きく成長すると言われています。竹は、節目をつくることでぐんぐん成長するのです。学校にとって、また皆さんにとっては、様々な行事が、一つの節目となると考えています。…こういった数々の行事に皆さん一人一人が目標をもって真剣に取り組み、ちょっと難しいことがあってもそこに挑んでいく、チャレンジしていくことで、必ずや皆さんは力を付けます。成長していくのです。まさに、行事が節目となって皆さんを成長させるのだと思います。」子供たちにこういった内容のことをお話をしました。

充実の二学期が始まります。

もちろん、行事だけではありません。日々、色々な教科の学習をしていくこと、友達と仲良くすること、人を思いやること、体を動かすこと、じっくり本を読むことなど、落ち着いた学校生活の中で子供たちに力を付けていくことができるよう、努めてまいります。

夏休み期間中も、家庭、地域で子供たちを見守り、支えていただきましてありがとうございました。

二学期も、本校教育へのご理解とご協力をどうぞよろしくお願いいたします。

平和集会

夏休み期間中、2回の登校日がありました。8月6日の全校登校日には、全校児童が講堂に集まり、平和集会を開きました。

6年生が、7月に広島平和記念資料館等を見学し、学んだことや考えたこと、そして全校児童に伝えたいことなどをまとめて発表してくれました。

私は、残念ながら出張で参加することができなかったのですが、6年生の自分の言葉で下級生に語りかける姿は、とても立派であったと職員から聞きました。

6年生の発表を聞いた後、全校児童で平和を祈る歌「折り鶴」を歌いました。人類史上初めて広島に原爆が投下された日、8月6日広島平和記念日に、6年生の言葉を全校児童が受け止め、一人一人が、平和の尊さや自分にできることなどについて考えるきっかけとなりました。



R8. 8. 6 平和集会



【児童の感想より】

○ぼくは、6年生の話を聞いて今生きているのは、当たり前じゃないと知れてよかったです。…あらそいは、そんなにたくさんの人をくるしめることになるんだなあと思いました。(2年生児童)

○6年生の話を聞いて、家につぶされて「水をください。」とか「たすけてください。」という声が聞こえたと言っていたので、そんなに原爆が怖いと初めて知りました。(3年生児童)